

子ども教育通信

行ってきました! 小学校教育実習

子どもたちのリアルな表情、考え方、動き。
教育実習は、実際の現場に向き合う貴重な機会です。
子ども教育学科では、実習を特に重視して、実施しています。



準備の大切さを痛感。子どもたちに教える喜びを再認識。



子ども教育学科4年
田中千陽
(武生高校出身)

【実習先】花籠小学校・2年生
【期間】5/25~6/19

小学校教育実習では、計5回の授業担当に加え、朝の会や給食など、教育活動全般において子どもたちに関わることができました。

授業実践で大切だと感じたのは、「準備をしっかり行う」ということです。授業を行うための正しい知識の確認、理解を深めるための工夫など、事前の用意が大きく影響することを実感しました。今回、私は大学で研究している絵本を導入部分に取り入れ、子どもたちの関心・意欲を喚起する工夫をしました。

実習期間を終えて思ったのは、子どもたちに毎日会えることが幸せだということ。実習期間と就職活動が重なって大変でしたが、小学校実習に参加できて本当によかったです。



先生が語る
「実習」

木曾利雄
教授

実際の子どもたちに向き合い、実際の教師を体感してください。

日頃学んだスキルを持って、さらに、学生相手に模擬授業を行った経験を活かして臨んでも、実習では、恐らく思い通りにいかない状況に直面するでしょう。なぜなら、それが実際の子どもたちだからです。大事なものは、その時にどう対応するか。そこで学生の皆さんの熱意が問われます。そして自分が教育者に本当に向いているかがわかります。知識の切り売りではない、教師の本当の意味と価値に、実習の機会を通して触れてみてください。

子ども教育学科 活動レポート!

大学祭を、子どもたちの遊び場に。

フィールドワーク さあ!6つのおかしを めしあがれ

今年も大学祭において、2年次の授業「フィールドワーク演習」の一環となるアトラクション展示が実施されました。4月より6班に分かれて制作をスタート。10月にはいまだて芸術館でも披露し、磨きをかけて大学祭での実施へ。来場した多くの子どもたち楽しんでもらえました。

ミニパーク風のアトラクション。 みんなのアイデアを集めて制作。

子ども教育学科2年 森川晴香 (三国高校出身)

トローランドのリーダーを務めました。「金魚釣り」「まっくろくろすけ探し」「輪投げ」をスタンプラリー形式でまわり、最後にトンネルをくぐるとトロに会えるというアトラクションです。メンバーそれぞれの良さを引き出して活かせるように気を配りました。



マジカルパーティー
～魔法にかけられて～

3びきのこぶた
～おはなしのせかいにとびこもう～



おかしをねらえ!
ストラックアウト!!
～めざせポテチ!!～



キッザニアタウン



つくうとぼそう



トローランド

地域のイベントに参加してきました!

ものづくりフェスタ

8 / 6(土)・7(日)にサンドーム福井で開催された、越前市内のものづくり企業がずらりと並ぶイベントに参加。子ども連れのご家族向けに『ビー玉で不思議なおもちゃを作ってみよう!』という体験型の企画を、ゼミ生とボランティアサークルすまいる工房のメンバーで行いました。

オリジナルの遊びを、 子どもの目線に立って追求!

子ども教育学科3年 成田瑞生 (仁愛女子高校出身)

どのようにしたら簡単に作れてより長く遊んでもらえるかの追求が大変でした。体験できる遊びのマニュアルには載っていないオリジナルのプランだったのですが、子どもたちも新鮮に受け止めてくれていて、頑張って作った甲斐がありました。



先輩の話を聞いてみよう! ホームカミングデーを 開催しました!

大学祭期間中に、毎年開催しています。今回は、卒業生30名に加え、退職した教員も来学。そこに在生も加わり、同じテーブルを囲みました。卒業生全員からの活動近況報告では、仕事のやりがいなどについて聞いて、参加した在学生にとって有意義な会となりました。